

日本円と仮想通貨

岡崎 良介



岡崎良介オフィシャルサイト
okazaki-ryosuke.com

こんな質問を受けた。

「返せない借金が膨らみ続ける日本円と、仮想通貨とは、どこか違うのですか？」

返答に窮した。その通りである。常日頃、仮想通貨は投機性が強い、政府・中央銀行の後ろ盾がない、典型的なバブルである、などと訳知り顔で当たり前のコメントを発している自分が恥ずかしくなった。そんな批判をするのなら、一体、我が国の通貨はどうなのか。

借金は膨らみ続け、これを日銀は莫大な資金供給量で支え続ける。勉強した学問からは、やがてインフレが発生し、通貨価値が下落すると習ったが、いつまでたってもこれが起きる気配はない。しかし本質を正せば、この国の通貨を使い、この国の通貨で暮らし、この国の通貨で税金を払い、この国の通貨で貯金をし、この国の通貨に次なる世代への未来を託す我々日本人自身が、発行残高883兆円にも達した借金が返せる日など来るはずがないと思っている。480兆円まで膨れ上がったマネタリーベースを、17兆円を超えた買い入れETFを、日銀が減らすことなど出来ないと思っている。仮想通貨を、何の裏付けもないただの投機商品であるというのなら、日本円はどうなのだ？

仮想通貨取引の参加者には、日本人が多いと言われている。例えばここに若者がいて、日本の未来など何も信じていないとしよう。やがて国家は破綻するか、とんでもない税金が取られる事態となり、どんなケースにしろ、自分たちの未来は暗澹たる世界であると、心のどこかで思っているとしよう。

海外に飛び出すことの、成功も失敗もすでに見た。資産運用があてにならないことも、金融危機を通じて学んでいる。高齢化社会が現実に進む姿を日々目の当たりにして、不動産事業などもってのほかだ。何よりも日本円で資産を持てば、やがて没収される日が訪れる。それならば、どうせリスクを取るのなら、仮想通貨が面白い。つまらない大人たちは、やめろ、やめろとうるさいが、そんな言葉は前にも聞いた。何よりも腐れ切った世の中に、風穴を開ける感覚がたまらない。こうして仲間が増えていく。

果たして日本円は、本当に仮想通貨よりも、未来永劫信頼できる通貨なのか、私には答える言葉がない。しかし、少なくとも政府・日銀は、つまらない大人たちや、当てにならない海外諸国ばかりを相手にするのはもうやめて、こうした素朴な質問をぶつけてくる、次の世代を担う人々に、きちんと未来を約束しなければならないだろう。財政赤字が垂れ流される一方で、教育は無償化され、防衛費は増額される、そんな国で仮想通貨の人気が増え続けている姿は異様である。



岡崎良介オフィシャルサイトでは、
ビデオマガジン・週間戦略・月次ミーティング等
 様々なサービスを提供しております

会員種別は4種類！

ビデオマガジン会員	¥2,160 / 月	月2回の配信
本年までテキストで配信していたメルマガを、ビデオに変更。 岡崎良介の判断・分析の元となる着目点や考え方を 分かりやすく映像でご紹介		
IV会員	月間会員：¥3,240 / 月	年間会員¥32,400 / 年
日経平均・ダウのIVレポートを 毎週月曜日 に週間ゲームプランとして配信 ビデオマガジン付き！		
セミナー会員	¥64,800 / 年	
ビデオセミナー（2月・5月・8月・11月）・IVレポート・ビデオマガジン 全てのサービスを提供		
特別会員	¥324,000 / 年	
名前の通り、特別な位置づけ。 全ての会員サービスに加え、毎月の定例MTGや、セミナー撮影等の同席が可能		

